

〇行きたかったなあ… 明日香村

～地創系2年オンライン研修～

8月5日(水)地域創造系2年生15名は、オンラインで明日香村とつなぎ、研修を行いました。当初の予定は2泊3日の合宿研修でしたが、コロナウイルス感染防止のため、オンライン研修となりました。

今回の研修は、奈良県明日香村の文化財を活用した地域活性・地域づくりを学び香美町の文化財を活用した地域づくりの方策を考えること、地域活性化のための行政、住民の取り組みを調査して、ふるさとに提言できるようにすることが目的です。



最初に研修①として、明日香村役場文化財課の辰巳様から「文化財を活用したむらづくり」について、お話を伺いました。明日香村では、1980年に制定された「明日香法」によって、建物は10m以下、瓦屋根と決められています。村全体が、かけがえのない風土を未来に残していこうと取り組まれていました。明日香村には、考古学的に価値のあるたくさんの歴史的な石造物があり、それらを活用したツアーやナビゲーションシステムを造成されていました。そして、世界遺産登録へ向けて村全体で取り組まれているとのことでした。

研修②では、明日香村観光協会の寺西さんから「現地ボランティアガイド」について、説明をいただきました。寺西さんは、「自分の生まれ育った場所のことを知ること、学ぶことがとても楽しい」と話されました。そして生徒たちに、「自分のふるさとの宝物を探してほしい、その宝物を知ることが誇りになる」と伝えていただきました。明日香村を訪れる修学旅行生、外国人、歴史に興味を持った人など対象に応じて、工夫してガイドしていることを生き生きと話されました。

研修③では、大和飛鳥ニューツーリズムの下田さんから「大和飛鳥民家ステイ」について、説明をいただきました。民泊を活用して、年間約6000泊を受け入れているそうです。そして、SDGsとの関連を図りながら、今後も拡充をされていくとのことでした。その際に、村単独ではなく近隣自治体との連携を図ることの大切さを強調されました。生徒は、振り返りの感想の中にもそのことを取り上げていました。

研修④の全体会では、コロナ禍における観光について焦点を絞り、グループで話し合いました。最後に、振り返りを行い1日の長い研修が終了しました。今後、研修の成果をまとめていきます。現地で対応いただいた今井先生、房安さん、学校で指導いただいた鳥取大学ギンナン先生、福村先生、談儀先生、香美町教育委員会の今井さん、ありがとうございました。

研修④では、大和飛鳥ニューツーリズムの下田さんから「大和飛鳥民家ステイ」について、説明をいただきました。民泊を活用して、年間約6000泊を受け入れているそうです。そして、SDGsとの関連を図りながら、今後も拡充をされていくとのことでした。その際に、村単独ではなく近隣自治体との連携を図ることの大切さを強調されました。生徒は、振り返りの感想の中にもそのことを取り上げていました。

研修④の全体会では、コロナ禍における観光について焦点を絞り、グループで話し合いました。最後に、振り返りを行い1日の長い研修が終了しました。今後、研修の成果をまとめていきます。現地で対応いただいた今井先生、房安さん、学校で指導いただいた鳥取大学ギンナン先生、福村先生、談儀先生、香美町教育委員会の今井さん、ありがとうございました。

研修④の全体会では、コロナ禍における観光について焦点を絞り、グループで話し合いました。最後に、振り返りを行い1日の長い研修が終了しました。今後、研修の成果をまとめていきます。現地で対応いただいた今井先生、房安さん、学校で指導いただいた鳥取大学ギンナン先生、福村先生、談儀先生、香美町教育委員会の今井さん、ありがとうございました。